

令和4年度事業報告書

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

1 福井県立すこやかシルバー病院における診療に関する業務

(1) 入院診療患者数

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、クラスターが2回(6/16~7/7、12/26~1/16)発生し、入退院が制限されたため、入院診療の延べ患者数は、前年度に比べて1,612人減(▲5.1%)の29,855人となり、1日平均患者数は4.4人減の81.8人となった。

	R4 (人)		R3 (人)		R4-R3 (人)		R4/R3
	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均	
東病棟	14,845	40.7	15,336	42.0	▲491	▲1.3	▲3.2%
西病棟	15,010	41.1	16,131	44.2	▲1,121	▲3.1	▲6.9%
計	29,855	81.8	31,467	86.2	▲1,612	▲4.4	▲5.1%

※ R4当初目標値：延べ患者数31,573人、1日平均患者数86.5人

(2) 外来診療患者数

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、福井県独自の感染拡大警報・注意報が年度間で発令され、自宅療養・待機や受診控え等が多く発生したため、外来診療の延べ患者数は、前年度に比べて497人減(▲11.2%)の3,953人となり、1日平均患者数は2.1人減の16.3人となった。

	R4 (人)		R3 (人)		R4-R3 (人)		R4/R3
	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均	
外来	3,953	16.3	4,450	18.4	▲497	▲2.1	▲11.2%
(うち初診)	(439)	(1.8)	(463)	(1.9)	(▲24)	(▲0.1)	(▲5.2%)

※ R4当初目標値：延べ患者数4,617人、1日平均患者数19.0人

(3) デイケア患者数

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、福井県独自の感染拡大警報・注意報が年度間で発令され、自宅療養・待機や受診控え等が多く発生したため、デイケアの延べ患者数は、前年度に比べて12人減(▲0.3%)の3,675人となり、1日平均患者数は0.1人減の15.1人となった。

	R4 (人)		R3 (人)		R4-R3 (人)		R4/R3
	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均	
デイケア	3,675	15.1	3,687	15.2	▲12	▲0.1	▲0.3%

※ R4当初目標値：延べ患者数3,888人、1日平均患者数16.0人

(4) 病院機能評価（公益財団法人 日本医療機能評価機構）の受審

新型コロナウイルスの感染拡大により、昨年度は受審を延期したため、今年度に受審を行った。

ア 審査方法

書面審査、5月18日～19日の訪問審査

イ 改善要望事項

該当項目なし

ウ 審査結果

日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成している

（認定期間：令和3年6月19日～令和8年6月18日）

(5) 電子カルテシステムの運用

令和2年3月16日から電子カルテシステムを本稼働させて以降、業務の効率化が図られ、病院経営の向上に大きく貢献している。

今年度は、病院を標的としたサイバー攻撃に備えるため、システム業者とセキュリティ対策の確認を行うとともに、実際の攻撃を想定した図上訓練やサイバーリスク保険の加入を検討した。

2 福井県立すこやかシルバー病院における施設および設備の維持管理に関する業務

施設、設備および備品を良好に維持するため、日常点検および法定の環境測定等の保守管理業務を実施した。

また、老朽化した設備の更新や新型コロナウイルスの感染拡大防止、療養環境の改善を図るため、次のとおり整備を行った。

(1) 県執行分

内 容	備 考
病棟個室トイレの設置（4部屋）	療養環境の改善
敷地内外灯の更新	開設以来、26年間使用
エレベータの改修（ロープ化）	〃
X線一般撮影装置の更新	〃
低床電動ベッドの設置	毎年度5台更新

(2) センター執行分

ア 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

内 容	場 所	備 考
廊下パーテーション扉の設置	両病棟	ゾーンを区別するため、2ヶ所設置
病室医療ガス設備の増設	東病棟	感染患者の酸素吸入・吸引対応
手洗いシンクの設置	休憩室	病棟職員の感染防止
床頭台8台・オーバーテーブル8台・ポータブルトイレ13台の設置	両病棟	新型コロナウイルス感染患者に係る療養環境の改善
遺伝子検査機器の設置	検査室	新型コロナウイルスのPCR検査
廊下網戸の設置	西病棟	夏場の換気対策

イ 設備の老朽化対策

内 容	場 所	備 考
床張替え、遮光カーテンの取替え	講堂	開設以来、26年間使用
床およびクロスの張替え	医局、当直室	〃
待合ソファの更新	待合ホール	〃
手洗い用シンク・水栓の取替え	厨房	〃
医療用キャビネットの設置	東病棟	〃
スロープタイル補修	正面玄関	タイルが1/2欠損
デイルーム・病室カーテンの設置	西病棟	長期間の使用による劣化

ウ 療養環境の改善

内 容	場 所	備 考
デイルームソファの設置	両病棟	4台新設
デイルーム日よけロールカーテンの設置	東病棟	熱中症対策
コールマット・コードレスの設置	両病棟	4台新設
リクライニング車椅子の設置	両病棟	5台新設
膀胱内尿量測定装置の設置	西病棟	1台新設

3 事業の企画および実施に関する業務

(1) 介護教育事業

認知症高齢者に関する県内の中核医療機関として、医療、保健、福祉に係る水準の向上を図るため、認知症に関する介護教育研修を実施した。

ア 認知症高齢者に係る介護教育および研修に関する業務

(ア) 全県応募型研修（一般コース）

認知症に関する知識の普及・啓発を進めるため、一般県民を対象に研修を実施した。

	研修日	研修内容	参加者
1	4/8	脳を活性化させよう	22人
2	4/14	認知症に関する制度と専門病院受診方法	15人
3	4/15	認知症高齢者の食事援助	3人
4	4/21	認知症を予防するための基礎知識	17人
5	4/22	認知症の方とのコミュニケーション	15人
6	4/28	認知症の方の症状悪化の原因を考える	21人
7	5/13	脳を活性化させよう	24人
8	5/20	認知症の基礎知識と対応のポイント	20人
9	5/27	心も体も元気に健康に～認知症の理解、予防、支援～	21人
10	6/3	高齢者の口腔ケア	11人
11	6/10	脳を活性化させよう	15人
12	6/17	認知症の基礎知識と対応のポイント	20人
13	6/23	認知症を予防するための基礎知識	13人
14	6/24	レビー小体型認知症の方の介護	中止

15	7/8	脳を活性化させよう	23人
16	7/22	認知症の基礎知識と対応のポイント	16人
17	7/29	認知症高齢者の排泄援助	12人
18	8/5	脳を活性化させよう	19人
19	8/26	認知症の基礎知識と対応のポイント	20人
20	9/9	認知症の方とのコミュニケーション	15人
21	9/16	認知症高齢者の食事援助	3人
22	9/22	脳を活性化させよう	13人
23	9/30	認知症の基礎知識と対応のポイント	8人
24	10/4	脳を活性化させよう	5人
25	10/6	認知症に関する制度と専門病院受診方法	8人
26	10/7	認知症の方のBPSDを理解する	5人
27	10/13	認知症の方への食事提供	3人
28	10/14	脳を活性化させよう	9人
29	10/21	心も体も元気に健康に～認知症の理解、予防、支援～	中止
30	10/28	レビー小体型認知症の方の介護	5人
31	11/4	高齢者の口腔ケア	7人
32	11/11	脳を活性化させよう	16人
33	11/25	認知症の基礎知識と対応のポイント	17人
34	12/1	認知症を予防するための基礎知識	17人
35	12/2	脳を活性化させよう	9人
36	12/6	認知症の基礎知識	11人
37	12/9	認知症高齢者の口腔ケア	8人
38	12/13	認知症の基礎知識と対応のポイント	6人
39	12/16	認知症の進行段階別症状と対応	14人
40	12/23	認知症の方の症状悪化の原因を考える	4人
41	2/16	認知症に関する制度と専門病院受診方法	3人
42	2/17	脳を活性化させよう	4人
43	2/24	認知症の基礎知識と対応のポイント	7人
44	3/3	認知症高齢者へのアプローチ（関わり）	15人
45	3/7	介護によるストレスを軽減するために	18人
46	3/9	認知症を予防するための基礎知識	21人
47	3/14	脳を活性化させよう	7人
48	3/17	認知症の基礎知識と対応のポイント	2人
49	3/31	心も体も元気に健康に～認知症の理解、予防、支援～	4人
計			571人

(イ) 専門職教育研修（施設職員コース）

認知症高齢者に関する専門的知識、技術の普及・啓発を進めるため、老人福祉施設や介護保険施設職員等の専門職を対象に研修を実施した。

	研修日	研修内容	参加者
1	5/6	専門職研修1「認知症予防に効果のある介護レクリエーション」	18人
2	5/11	専門職研修2「イライラとうまく付き合う介護職になる」	15人
	7/20 10/12		16人 25人
3	5/12	専門職研修3「認知症高齢者の転倒予防」	13人
	11/28		18人

4	5/25 9/21 12/8 3/30	専門職研修4「怒りのある方への対応」	23人 19人 20人 15人
5	5/26 5/27 11/16 11/17	専門職研修5「認知症の方の暴言、暴力、介護拒否への対応」	25人 18人 20人 16人
6	6/1 12/7	専門職研修6「認知症高齢者の終末期ケア」	21人 16人
7	6/2	専門職研修7「認知症地域密着型デイサービスの活動」	8人
8	6/6 11/10	専門職研修8「介護レクリエーションで広がる笑顔の輪」	20人 23人
9	6/13 10/31	専門職研修9「身寄りがいない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援」	24人 16人
10	6/15	専門職研修10「懐かしい記憶から引き出す生きがい」	23人
11	6/16	専門職研修11「バリデーションの基本」	21人
12	6/29	専門職研修12「パーソン・センタード・ケアを現場に生かす」	21人
13	6/30	専門職研修13「認知症者に対する脳活性化リハビリテーション」	21人
14	7/1 10/20	専門職研修14「高齢者レクリエーション」	21人 11人
15	9/29	専門職研修15「新型コロナウイルス感染対策」	14人
16	7/14 3/23	専門職研修16「食べなくなった認知症高齢者の支え方Ⅰ」	19人 22人
17	7/15 3/24	専門職研修17「食べなくなった認知症高齢者の支え方Ⅱ」	21人 13人
18	8/24	専門職研修18「高齢者の食事援助」	15人
19	8/25	専門職研修19「レビー小体型認知症の人の支援」	15人
20	9/2	専門職研修20「認知症を生きる人との心の対話」	16人
21	9/7	専門職研修21「介護職員のメンタルヘルス」	17人
22	9/28	専門職研修22「認知症の理解とせん妄、BPSDの予防」	20人
23	10/8 10/9	専門職研修23「優しさを伝えるケア技術ユマニチュード®」	19人 7人
24	10/27	専門職研修24「認知症高齢者の終末期ケア」	16人
25	11/14	専門職研修25「認知症のコミュニケーション 障害のみかたと対応」	20人
26	11/17 11/18	専門職研修26「人生最終段階の食支援～お食い締め～」	23人 19人
27	12/21	専門職研修27「身体拘束廃止の課題と実践」	20人
28	12/22	専門職研修28「養介護施設従事者等による高齢者虐待防止」	20人
29	3/1 3/2	専門職研修29「アドバンス・ケア・プランニング ～認知症高齢者と家族の意思決定～」	9人 5人
30	3/10	専門職研修30「認知症高齢者が安心できる環境づくり」	18人
31	3/16	専門職研修31「認知症高齢者の残存機能を生かしたBPSDへの対応」	15人
32	3/29	専門職研修32「穏やかで自然な最期を支えるために」	15人
33	3/29	専門職研修33「在宅での最期を支えるために」	18人
計			903人

(ウ) 専門職向け配信研修

医療機関・福祉施設等の職員を対象として、専門職研修の講義の内容を動画で配信した。

	研修内容	申込施設数	視聴申込者数
1	認知症の理解とせん妄、BPSDの予防	30 施設	206 人
2	せん妄の理解とケア	18 施設	49 人
3	高齢者のうつ症状とケア	16 施設	56 人
4	眠れない方へのケア	14 施設	68 人
5	不安のある方への対応	15 施設	65 人
6	精神病症状への対応	14 施設	53 人
7	認知症の方のBPSDを理解する	21 施設	82 人
8	認知症の人を介護する家族の支援	15 施設	37 人
9	認知症タイプ別食事の特徴と対応	25 施設	113 人
計		168 施設	729 人

(エ) 消防署員研修

県内の消防署員に対し、認知症の基礎知識、徘徊の方に対する対応等について研修を実施した。

	研修日	会場	参加者	講師
1	3/13	美浜消防署	15 人	看護師

(オ) 民生委員研修

県内の民生委員を対象に、認知症の基礎知識、認知症の方への対応、介護者に対する相談窓口や病院案内等の研修を実施した。

	研修日	会場	参加者	講師
1	7/25	池田町ホットプラザ	20 人	看護師
2	9/6	越前町織田コミュニティセンター	20 人	看護師
3	9/26	ホットプラザ検診研修室	20 人	看護師
4	10/11	福井市防災ステーション	48 人	介護福祉士
5	10/25	福井県社会福祉センター	30 人	看護師
合計			138 人	

(カ) 学生研修

学生を対象に教育カリキュラムの一部として、認知症高齢者の臨床に係る生活援助の在り方の研修を実施した。

	研修期間	学校名	延人数
1	2/27～3/27	仁愛大学人間生活学部健康栄養学科	30 人
計			30 人

(キ) 家族介護研修

a 入院患者家族研修

(a) 外出・外泊時研修

外出・外泊時において、個々に応じたケアの留意点を知ること、家族が入院患者に適切なケアが行え、介護負担が軽減できるよう研修を実施した。

※ 参加者数：(外出時) 87 件、(外泊時) 1 件

(b) リーフレット研修

患者家族が認知症に対する正しい知識と理解を得るため、リーフレットを用いた研修を実施した。

※ 参加者数：2,805 人

b 外来患者家族研修 (外来初診時研修)

在宅での家族介護者に対し、地域での介護・相談窓口・介護保険制度等について助言し、家族の介護力の向上を図ることを目的に研修を実施した。

※ 参加者数：392 人

c デイケア患者家族研修

患者家族が認知症に対する正しい知識と理解を得るために、リーフレットを用いた研修を実施した。

※ 参加者数：2,178 人

イ 認知症およびその予防に関する知識の普及および啓発に関する業務

(ア) 講演会：Web (YouTube) での配信および当院での視聴会

(日時) 令和 5 年 3 月 1 日 (水) ～ 3 月 3 1 日 (金)

(講師) 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 教授 池田 学氏

(内容) 「認知症の疾患別治療とケア」

(動画再生回数) 283 回

(動画視聴者数) 476 人 (申込時の人数であり、当院視聴会の参加者 8 人を含む)

(イ) 講師派遣

認知症およびその予防に係る知識の普及・啓発を図るため、他機関からの依頼に応じ、院外に講師を派遣し、研修を実施した。

研修日	研修事業名	会場	参加者	講師	
1	5/12	若狭・リンクワーカー樹の輪学習会	美浜町生涯学習センター	8 人	精神保健福祉士
2	6/9	若狭・リンクワーカー樹の輪学習会	美浜町生涯学習センター	10 人	精神保健福祉士
3	6/10	さばえいきいきサポーター養成講座	あいあい鯖江	15 人	看護師
4	8/4	自治会型デイホーム 認知症研修会	小当見集落改善センター	10 人	作業療法士
5	7/8	福井県立大学看護学部老年看護学特別講義	福井県立大学	56 人	看護師
6	7/14	若狭・リンクワーカー樹の輪学習会	リブラ若狭	10 人	管理栄養士
7	7/21	おおい町スマイルポーターズフォローアップ研修会	おおい町保健福祉センター	10 人	看護師
8	7/29	若狭町ケアマネ連絡会	若狭町役場上中庁舎	30 人	看護師
9	7/29	若狭町ケアマネ連絡会	若狭町役場上中庁舎	30 人	精神保健福祉士
10	8/24	おおい町スマイルポーターズフォローアップ研修会	里山文化交流センター	10 人	看護師
11	8/26	和泉地区社会福祉協議会合同研修会	国民宿舎 若狭丸頭竜	15 人	看護師
12	9/4	福井県かかりつけ医認知症実践研修	福井県医師会館	15 人	看護師
13	9/4	福井県かかりつけ医認知症実践研修	福井県医師会館	15 人	看護師
14	9/5	福井県看護協会専門・認定看護師出前講座	田中病院	28 人	看護師
15	9/6	福井県看護職員認知症対応力向上研修	福井県看護協会	58 人	看護師
16	9/7	福井県看護協会専門・認定看護師出前講座	新世紀ケア+	6 人	看護師
17	9/16	福井県看護協会専門・認定看護師出前講座	新田塚訪問看護ステーション	8 人	看護師
18	9/16	病棟管理栄養士の業務・ケーススタディー	仁愛大学健康栄養学科	12 人	管理栄養士

19	9/20	福井県立大学看護学部老年看護学特別講義	福井県立大学 ZOOM	60 人	認定看護師
20	9/20	福井県立大学看護学部老年看護学特別講義	福井県立大学 ZOOM	60 人	作業療法士
21	9/21	福井県健康管理協会 認知症研修	ふくい健康の森温泉	10 人	管理栄養士
22	9/21	福井県看護職員認知症対応力向上研修	福井県看護協会	58 人	看護師
23	9/29	令和4年度介護職員のための介護技術向上研修	福井県社協嶺南支所	10 人	看護師
24	9/29	令和4年度介護職員のための介護技術向上研修	福井県社会福祉センター	29 人	看護師
25	10/4	福井県看護職員認知症対応力向上研修	福井県看護協会	58 人	看護師
26	10/13	若狭・リンクワーカー樹の輪学習会	リブラ若狭	10 人	看護師
27	10/24	福井県看護職員認知症対応力向上研修	福井県看護協会	58 人	看護師
28	11/7	福井県看護職員認知症対応力向上研修	福井県看護協会	61 人	看護師
29	11/10	若狭・リンクワーカー樹の輪学習会	リブラ若狭	6 人	看護師
30	11/25	福井県看護職員認知症対応力向上研修	福井県看護協会	61 人	看護師
31	11/25	南中山地区自治振興会研修会	南中山公民館	22 人	看護師
32	12/16	服間地区生活支援事業協議研修会	服間公民館	17 人	看護師
33	3/8	令和4年給食ボランティア研修	越前町社会福祉センター	31 人	管理栄養士
計				897 人	

ウ 認知症高齢者に関する一般県民からの相談および指導に関する業務

受診相談、外来・介護相談 計523件

(2) 認知症カフェ実施事業

ア 地域住民対象

(ア) 計画

認知症に不安を感じている方、軽度認知障害の方、その家族および地域住民の方等に対して、他者との交流の場であったり、病気や介護の悩みを打ち明けたり、楽しい雰囲気の中での創作活動などといった諸活動を行う場として、認知症カフェ「心愛」を運営する。

a 内容

茶菓の提供、歓談、趣味活動（囲碁、将棋、編み物等）、散歩、体操、脳トレ、介護の悩み相談等

b 日時、場所

(日時) 毎週土曜日、午前10時～午後3時

(場所) 福井市湊3丁目1010 ループヤシロビル1階

(イ) 実績

新型コロナウイルスの感染拡大により、開催の見通しが立たないとともに、年間の維持経費で約90万円の持ち出しとなるため、令和4年5月末で廃止とした。

イ 通院者対象

(ア) 計画

a 内容

通院患者の家族の方を対象に、家族の介護相談、待ち時間対策および患者の方の気分転換を図る。

b 日時、場所

(日時) 毎週月曜日：午前10時～12時、毎週水曜日：午後2時～4時

(場所) 当院待合ホール

(イ) 実績

新型コロナウイルスの感染拡大により、計画の具体化まで至らず、実施できなかった。

4 その他施設の管理運営に必要な業務

(1) 新型コロナウイルス感染拡大への対応

ア クラスター発生への対応による知見の活用

新型コロナウイルスの第7・8波の影響により、病棟内で2回(6/16~7/7、12/26~1/16)、クラスターが発生し、その対応の知見を活用した。

ソフト面では、水際対策の徹底(入院当日のPCR検査・個室隔離の実施)や換気の徹底等を行うとともに、ハード面では、病棟廊下パーテーション・病室医療ガス設備・遺伝子検査機器等の設置や病室の療養環境改善等を行った。

イ 厚生労働省補助金の活用

厚生労働省の新型コロナウイルス感染症患者転入院支援事業補助金を活用し、新型コロナ患者の対応を行う処遇改善・人員確保対策(新型コロナ対応手当の新設等)や院内等での感染拡大防止対策・診療体制確保対策(個人防護具の確保、PCR検査の委託、職員宿泊所の確保等)を実施した。

(2) 患者への不適切行為の防止

患者中心のケアを推進し、患者への不適切行為を防止するため、行動制限最小化委員会での研修会の開催、看護部教育委員会での勉強会の開催、スタッフ間で注意し合える職場環境づくり、適切な業務配分の管理等を実施した。

(3) 院長による病院運営の推進

院長による病院運営の推進について、職員から意見が提出されたことに加えて、県の指導や福井大学精神医学教室の要望を受けたことから、事務的手続の改正(変更)を行った。

ア 事務決裁規程の改正

理事長決裁の全32事項のうち、病院運営の企画・調整に関する4事項、予算・財務に関する4事項、職員等の任免・服務に関する4事項(令和5年度から5事項に拡充)、職員等の給与・手当に関する1事項、情報公開の施行に関する1事項および個人情報保護の施行に関する1業務の計15事項(令和5年度から16事項に拡充)について、院長専決事項に移譲した。

イ 幹部会議議長の変更

病院運営の方針を協議する幹部会議について、構成員を病院プロパーの幹部職員とし、会議の議長を理事長から院長に変更した(理事長は助言・提案者として参加)。

(4) 評議員会の開催

	開催日・場所	議 題
第1回	令和4年4月1日 定款第22条による決議の省略	・ 評議員の選任の承認
第2回	令和4年6月1日 定款第22条による決議の省略	・ 定款の変更の承認
第3回	令和4年6月14日 当院2階 講堂	・ 理事および監事の選任の承認 ・ 令和3年度事業報告および財務諸表の承認 ・ 令和4年度事業計画（案）および令和4年度正味財産増減予算書（案）の承認
第4回	令和4年6月15日 定款第22条による決議の省略	・ 評議員の選任の承認

(5) 理事会の開催

	開催日・場所	議 題
第1回	令和4年5月31日 当院2階 講堂	・ 理事および監事の選任 ・ 令和3年度事業報告および財務諸表の承認 ・ 令和4年度事業計画（案）および令和4年度正味財産増減予算書（案）の承認 ・ 評議員会への提案
第2回	令和4年6月24日 定款第37条による決議の省略	・ 代表理事（理事長）の選任 ・ 代表理事（副理事長）の選任
第3回	令和5年3月22日 当院2階 講堂	・ 令和4年度正味財産増減予算書（決算見込）（案） ・ 令和5年度事業計画（案） ・ 令和5年度正味財産増減予算書（案） ・ 評議員会への提案

5 福井県立すこやかシルバー病院指定管理者外部評価委員会による評価結果

(1) 日時・場所

令和5年3月8日（水） 当院2階 講堂

(2) 外部評価委員

（関連分野の専門家）大森一郎氏、渡辺かづ代氏 （経営の専門家）増田仁視氏
（利用者代表）二宮かよ子氏

(3) 当センターの出席者

岸下理事長、村田院長、升谷診療部長、高嶋看護部長、谷口地域連携室長、山口事務部次長

(4) 評価結果

概ね良好

(5) 意見要望とその対応内容

意見要望（外部評価委員会）	対応内容（当センター）
<p>介護教育研修について、より多くの方に受講していただけるような取組を積極的に行っていただきたい。</p>	<p>介護教育研修については、新型コロナウイルス感染症の防止対策を継続しつつ、当方の広報媒体に合わせて、県の広報媒体も積極的に活用することにより、受講人数の定員を約1.5倍に拡大していく。</p> <p>また、配信研修については、受講URLの送信をリアルタイムに行うとともに、申込施設内であれば受講者を限定せず、誰でも受講できるようにしていく。</p>
<p>新型コロナウイルスが5類感染症に移行するにあたり、患者数を増加させるため、地域のかかりつけ医や介護施設等との連携をさらに強化していただきたい。</p>	<p>地域のかかりつけ医や介護施設等との連携については、5類移行後の新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、当院での見学会開催や地域連携室による訪問を検討し、ケアマネージャー等と情報交換を行っていく。</p> <p>また、かかりつけ医を対象とした情報誌を新たに作成し、有益な情報を積極的に発信していく。</p>